

「お客様本位」「品質本位」がここに実現

# 大型冷蔵 ディスペンサー スーパータンク



ビールといっしょにサーヴしたいのは、おいしい笑顔と満足のため息。

麒麟ビールは、料飲店の皆様のそんな気持ちをバックアップしたいと考えています。

品質管理の負担を軽減し、もっとおいしい樽詰生ビールを提供するために  
必要なこと、必要なものは何なのか。樽詰生ビール管理販売システムの理想を  
追求し続けてきた麒麟ビールの自信作をご覧ください。

スーパータンク。「お客様本位」「品質本位」を実現した、技術と熱意の集大成です。

*Super Tank*

# Copper

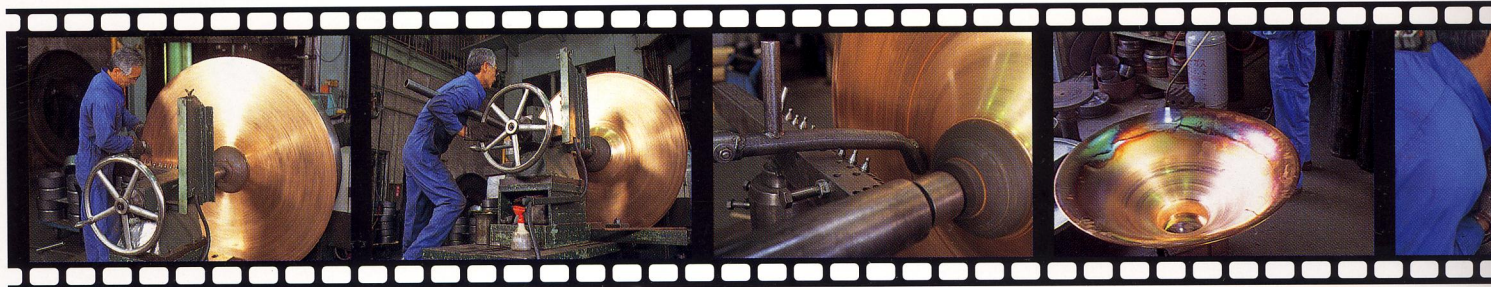
## F-4〈銅釜仕様4樽収納タイプ〉

お店のインテリアを選ばない、シンプルなデザインが魅力。狭いスペースにも設置できる、スリムな設計です。



### ここに技あり!

煙突部分の絞り加工（へら絞り加工）-型と丸い金属板とを回転させ、ヘラ、ローラーなどを用いて、金属板をしごきながら型に密着させて成形していく。機械は陶芸用のロクロを横置きにしたようなもの。これは、金属のもつ延展性を利用したもので、加工時に受ける金属板の変形は曲げや加工やプレス加工に比べるとかなり難しい加工法であるが、熟練した職人の知性と技術によって、回転体のものならどんなものでも基本的にはできると考えられている。



Super Tank

# Copper

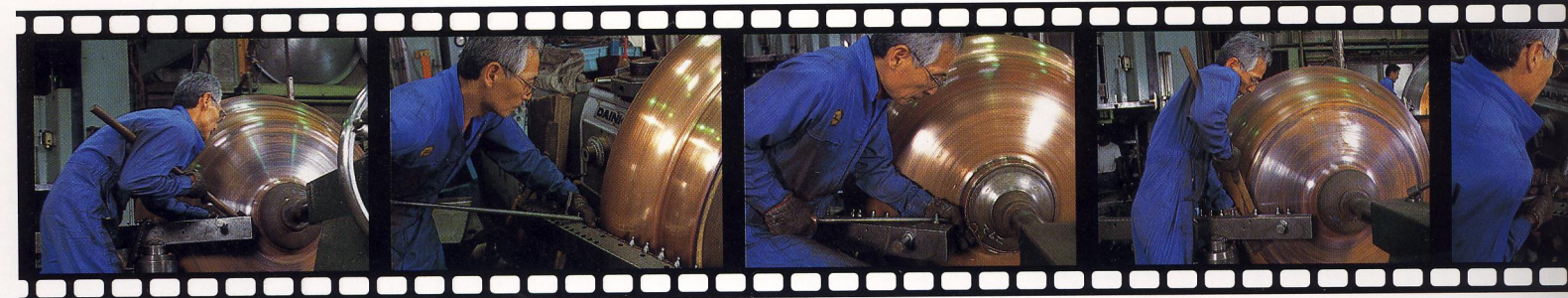
## DX-6〈銅釜仕様6樽収納タイプ〉

ビールの仕込釜をイメージした銅製のタンク。ビアホールや洋風のお店にマッチします。



### ここに技あり!

絞っていく過程で、へらめという工程があるが、絞りすぎると銅版が極端に薄くなり、たのんでしまい、切れそうになったり、その部分だけ伸びすぎてしまったりする。その微妙な加減は熟練者でなくてはなかなかできない。



Super Tank

# Copper

## F-8〈銅釜仕様8樽収納タイプ〉

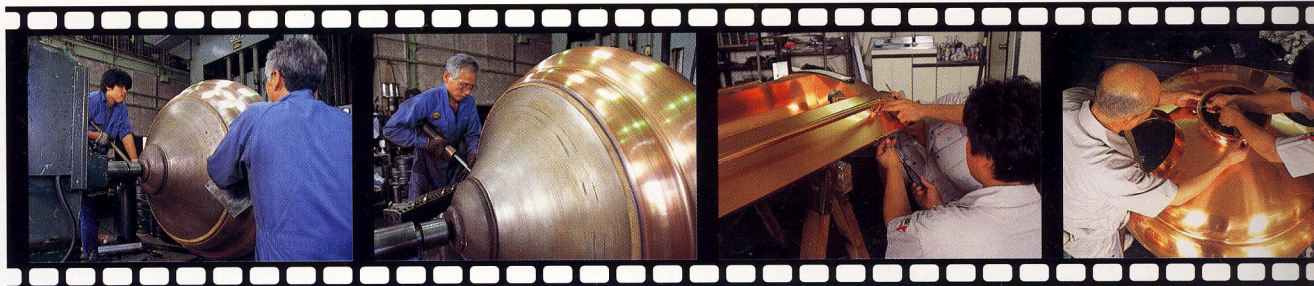
ビール工場を彷彿とさせる迫力あるデザインが魅力。8樽の収納が可能な、大容量タイプです。



### ここに技あり!

銅板自体がやわらかいため、素手でさわると指紋がつき、組立作業中に爪が当たただけでもキズがついてしまうので、扱いが難しい。細心の注意をはらって作業を行わないと、最初の工程である磨きからのやり直しということになる。また、タンクの胴体部分は、4枚の銅板を円形にして貼り

合わせていくが、あらかじめ曲げの精度を考えていないと、4枚合わせたときにうまくつながらず、溶接した時にひずみが出てしまう。



Super Tank